

授業科目	公衆衛生看護活動演習				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	布花原 明子、眞崎 直子、鹿毛 美香										
授業概要	授業は集中講義です。地域アセスメント演習と保健師に必要な技術演習を組み合わせで展開します。実務家教員は保健師経験を生かして「公衆衛生看護学実習」の実習施設を対象とした演習のグループワークをファシリテートします。地域アセスメント演習では既存資料から統計データ等を抽出し分析する過程を通して、統計データの見方を知り、根拠に基づくアセスメントの理解を深めます。家庭訪問、健康教育の演習では、地域アセスメントから導き出した健康課題と関連づけながら、個/家族、集団を対象として事例演習を行います。										
授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク、ロールプレイング								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護実習に向けて、地域社会に貢献する保健師を目指し学ぶ姿勢を備えることができる (DP4-3)。 2. 保健師として担当地域への責任を自覚し、個人/家族、特定集団、地域の健康課題を解決しようと意欲を高めることができる (DP3-2)。 3. 個人/家族、特定集団を対象とし、根拠に基づいた看護実践を検討できる。(DP2-1, DP4-2)。 4. 既存の情報源から、地域集団の統計データや社会資源を収集し、住民の健康と生活、環境との関連を分析し、実習地域の健康課題を推測できる (DP2-1、4-2)。 5. 対象・目的に応じた多職種、社会資源との協働・連携について検討できる (DP3-2)。 										
理想的レベル	標準的レベルに加えて、主体的に自らの学習課題を解決するための方法を模索し、教員・学生と積極的に意見交換することができる。										
評価方法・評価割合											
	評価方法	評価割合 (数値)				備考					
	試験	0									
	小テスト	20%									
	レポート	0									
	発表 (口頭、プレゼンテーション)	40%									
	レポート外の提出物	40%				各公衆衛生看護技術の計画・実施後の振り返りシート					
	その他	0									
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31707J
学習課題 (予習・復習)										1 回の目安時間 (時間)	
授業内容の復習と次回までの準備										1	
授業計画											
第 1 回	個 / 家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術 1 新生児をもつ家族への家庭訪問 (計画立案) 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香										

第2回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術2 新生児をもつ家族への家庭訪問（プレ実践、プレ実践の振り返り） ※2回・3回は続けて実施する 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第3回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術3 新生児をもつ家族への家庭訪問（プレ実践、プレ実践の振り返り） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第4回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術4 新生児をもつ家族への家庭訪問（計画修正及び技術練習） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第5回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術5 新生児をもつ家族への家庭訪問（ロープレイング準備） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第6回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術6 新生児をもつ家族への家庭訪問（ロールプレイング実践） ※6, 7回は続けて実施する 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第7回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術7 新生児をもつ家族への家庭訪問（ロールプレイング実践・今後の支援方針） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第8回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術8 健康課題別の保健指導（特定健康診査後の保健指導） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第9回	個/家族を対象とした公衆衛生看護の方法と技術9 健康課題別の保健指導（精神・感染症事例の保健指導） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第10回	地域アセスメント1 地域概要・人口及び世帯の特性（人口静態） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第11回	地域アセスメント2 地域概要・人口及び世帯の特性（人口動態） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第12回	地域アセスメント3 地域概要・人口及び世帯の特性（人口静態・人口動態の関連） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香

第13回	地域アセスメント4 担当地域の生活環境と健康（担当地域マッピング） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第14回	地域アセスメント5 担当地域の健康状態（死亡数・率） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第15回	地域アセスメント6 担当地域の健康状態（死因別死亡数・率） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第16回	地域アセスメント7 担当地域の健康状態 医療統計、介護保険統計、健診・検診統計の情報収集、アセスメント 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第17回	地域アセスメント8 担当地域の健康状態 統計データに基づく将来予測と予防的視点からみた課題の明確化 各担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第18回	地域アセスメント9 ライフステージ①母子保健領域の指標の理解とアセスメント（妊娠期） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第19回	地域アセスメント10 ライフステージ①母子保健領域の指標の理解とアセスメント（育児期） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第20回	地域アセスメント11 ライフステージ②高齢期の健康課題と指標の理解、アセスメント（介護保険統計） 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第21回	地域アセスメント12 ライフステージ②高齢期の健康課題と指標の理解、アセスメント 健康教育演習及び健康課題別（精神・感染症・難病）アセスメントのオリエンテーション 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第22回	集団を対象とした健康教育1 対象集団への健康教育の指導案作成 健康教育テーマ、地域の健康課題との関連、健康教育の目的・目標及び評価の設定 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香
第23回	集団を対象とした健康教育2 対象集団への健康教育の指導案作成

	<p>目的を達成するための健康教育の方法の選択、指導案の修正 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 24 回	<p>集団を対象とした健康教育 3 指導案に基づく健康教育シナリオと教材作成 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 25 回	<p>地域アセスメント及び対象の健康を支援する制度に関する小テスト 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 26 回	<p>集団を対象とした健康教育技術 4 デモンストレーションと助言に基づく指導案、教育媒体の修正 健康教育実施時のオリエンテーション 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 27 回	<p>集団を対象とした健康教育技術 5 対象集団の特性に応じた健康教育の実施 ※第 5, 6, 7 回は続けて実施する 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 28 回	<p>集団を対象とした健康教育技術 6 対象集団の特性に応じた健康教育の実施 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 29 回	<p>集団を対象とした健康教育技術 7 対象集団の特性に応じた健康教育の実施 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
第 30 回	<p>健康教育技術 8 健康教育の相互評価とふりかえり 実習課題の明確化 担当：布花原明子・眞崎直子・鹿毛美香</p>
テキスト	<p>・厚生省の指標：国民衛生の動向（2024/2025），厚生労働統計協会</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>・「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護方法論」「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」「保健統計」「疫学」「保健医療福祉行政と政策」で用いたテキスト及び資料すべてを活用し、必要時に知識を確認しながら進めます。</p> <p>・e-Stat 政府統計の総合窓口 https://www.e-stat.go.jp/</p> <p>・ふくおかデータウェブ 福岡県統計データ Web http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/</p> <p>・厚生労働省HP</p> <p>・実習施設（自治体）のHP</p> <p>・保健医療介護に関するデータヘルス（KDB）、がん登録、診療情報データ（DPC）等の情報源</p> <p>・都道府県、市町村健康増進計画及び生活実態調査</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>「テスト」は地域アセスメントの内容を出題し、グループで進めてきた演習内容を一人で説明できるかを評価します。</p> <p>「発表」は家庭訪問、健康教育技術の発表内容を評価します。</p> <p>「その他の提出物」は、各演習の成果物、提出された資料を評価します。</p> <p>評価の詳細は保健師課程オリエンテーション時及び授業時間内に説明します。</p>

公衆衛生看護方法論 I で学んだ公衆衛生看護の方法に用いる理論と保健指導の技術を活用し、科学的根拠に基づいて計画を立案する技能を修得しようとする意欲、態度が求められます。それに加えて、地域アセスメントには公衆衛生看護関係科目外で 1~3 が必要です。

1. ライフステージの特性と起こりやすい健康問題及び発達段階（小児・母性・成人・老年・精神看護学の知識）
2. 保健医療福祉制度（『保健医療福祉行政と政策』『社会保障概説』の知識）
3. エクセル表作成のスキル

公衆衛生看護学実習の開始までに集中講義で進めますので過密スケジュールです。（オリエンテーション時に詳細は説明します。）

毎回の授業までにグループメンバーで協力して事前準備を行い、授業では教員に成果や疑問を説明できるように授業に臨んでください。

また、小テストでは演習に関する保健統計、法制度から出題します。既習知識を復習して下さい。

